

千葉キャンペーン

2024.12.09

M1 押見敏暉

◎ 12/07-09の千葉サイトを対象。

※スカイラジオメーターはCloudFlag=0に絞って解析

【解析したデータ】

・ MAX-DOAS

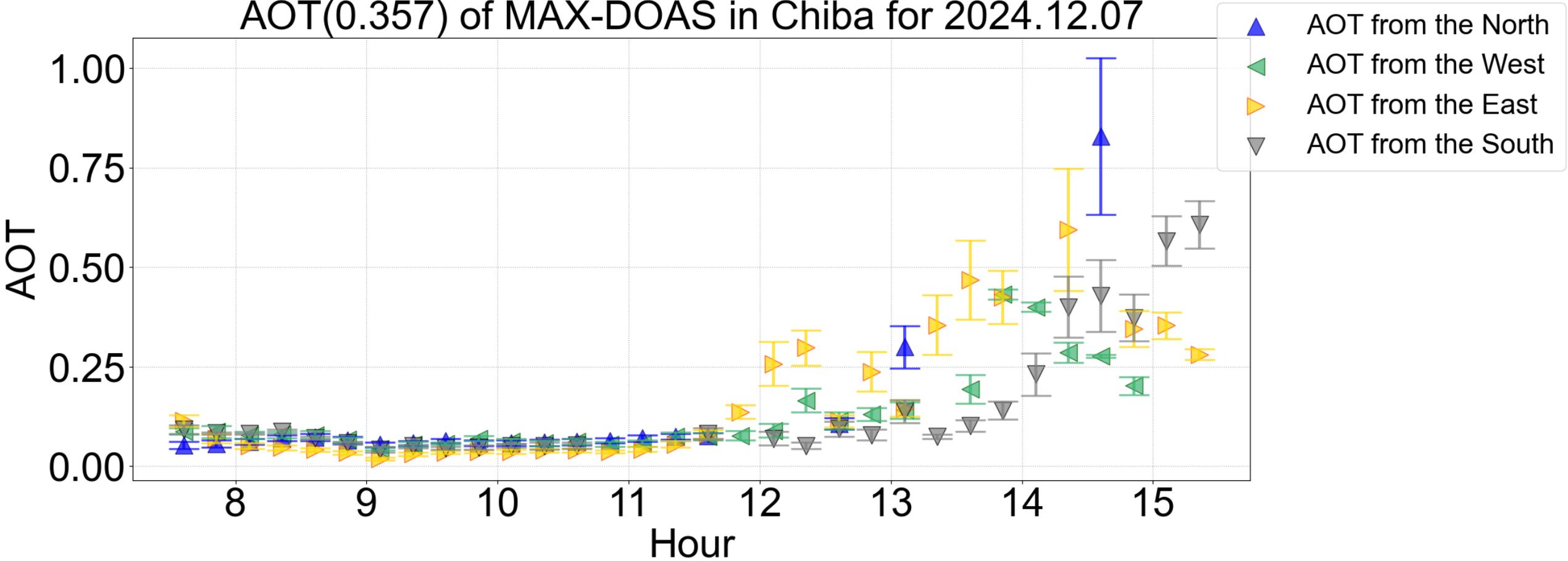
→4方向のAOT(0.357)

・ スカイラジオメーター

→SSA(0.380)、AAOT(0.380)、オングストローム指数

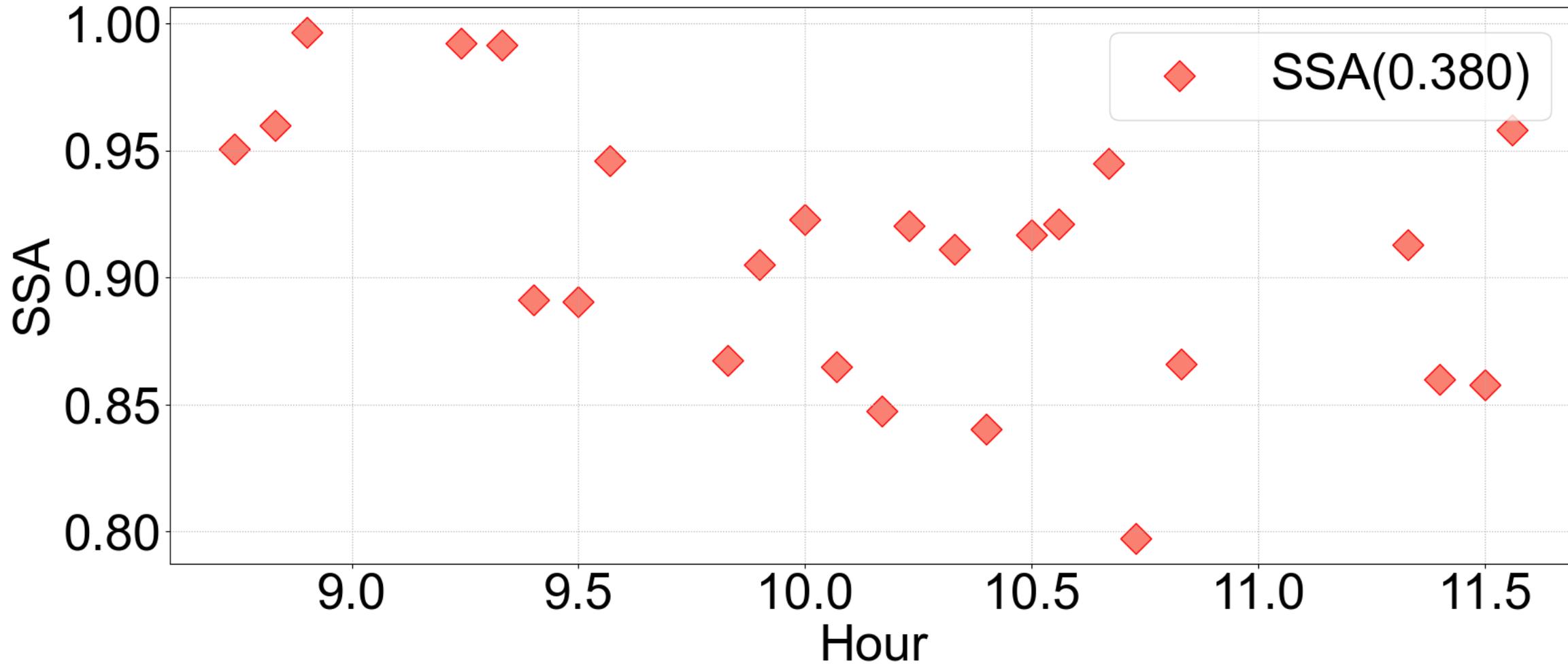
【12/7】

AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2024.12.07



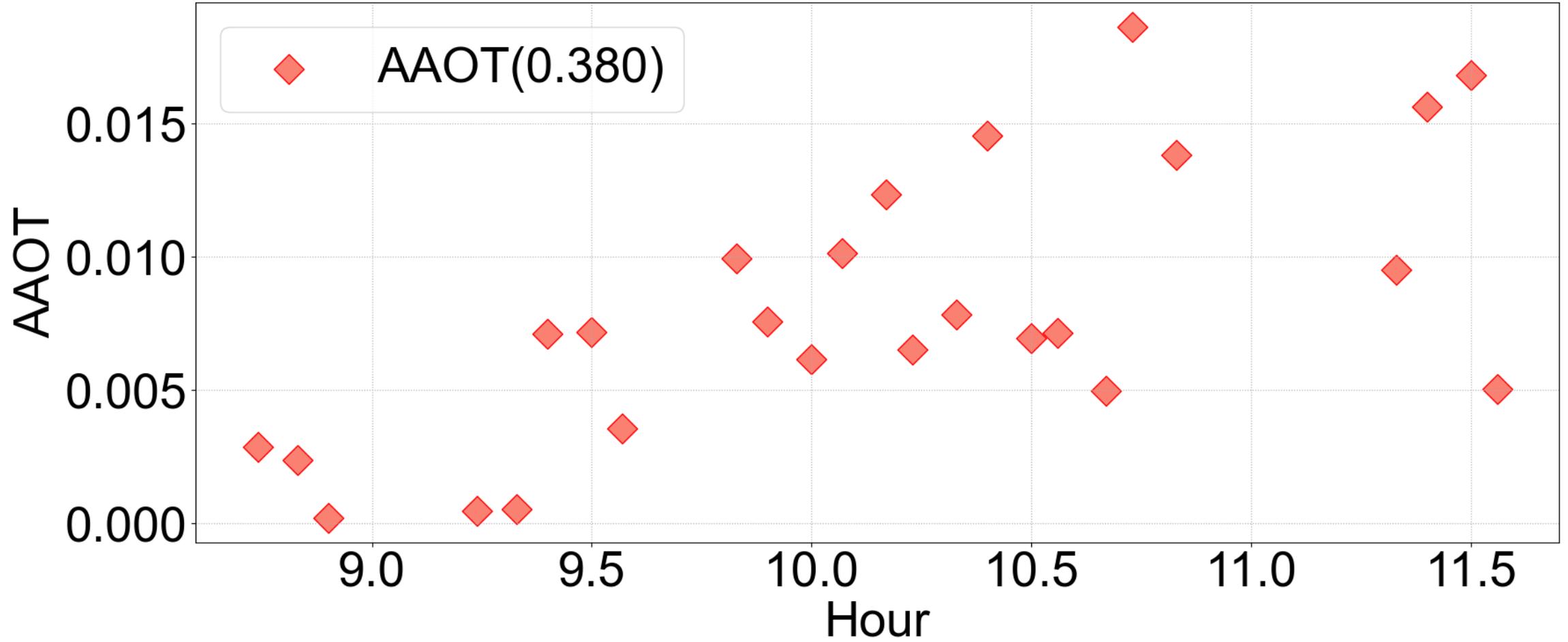
【12/7】

SSA in Chiba for 2024.12.07



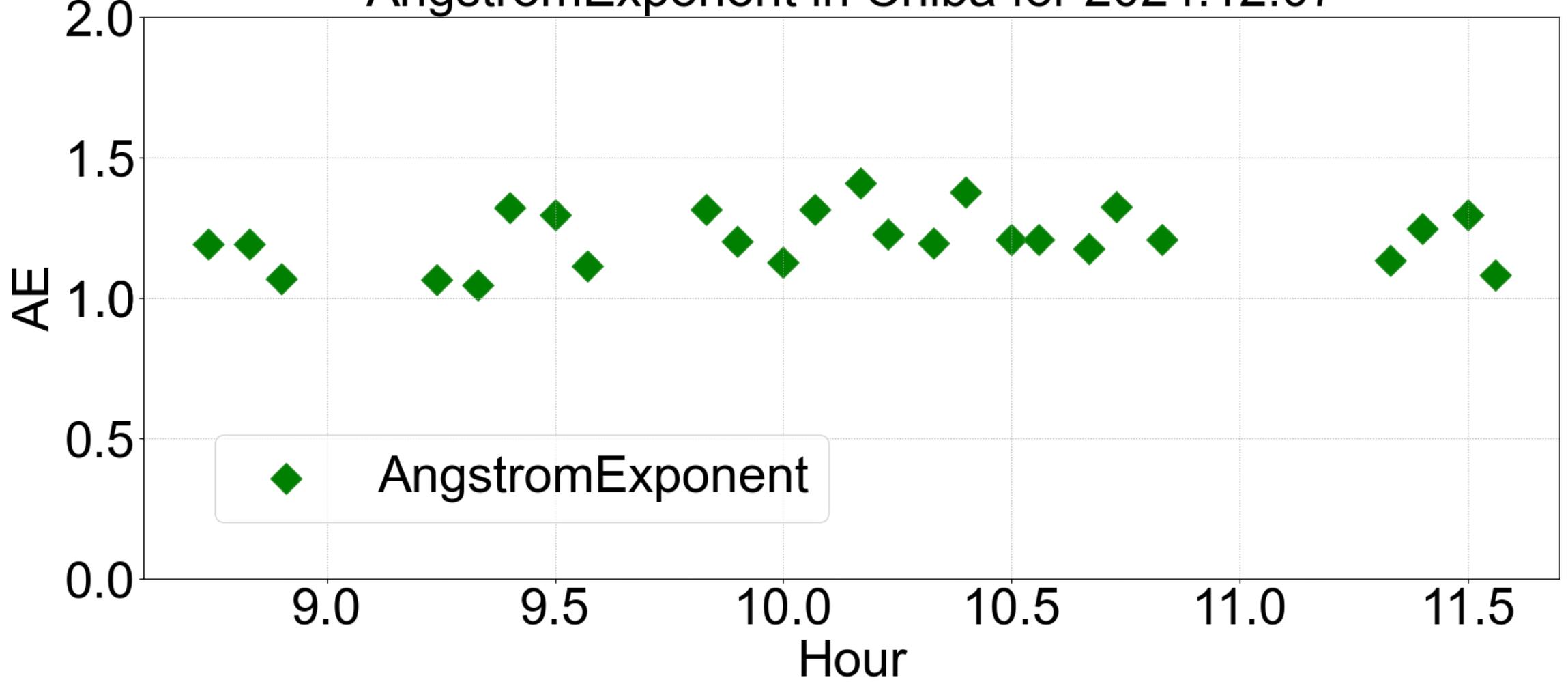
【12/7】

AAOT in Chiba for 2024.12.07



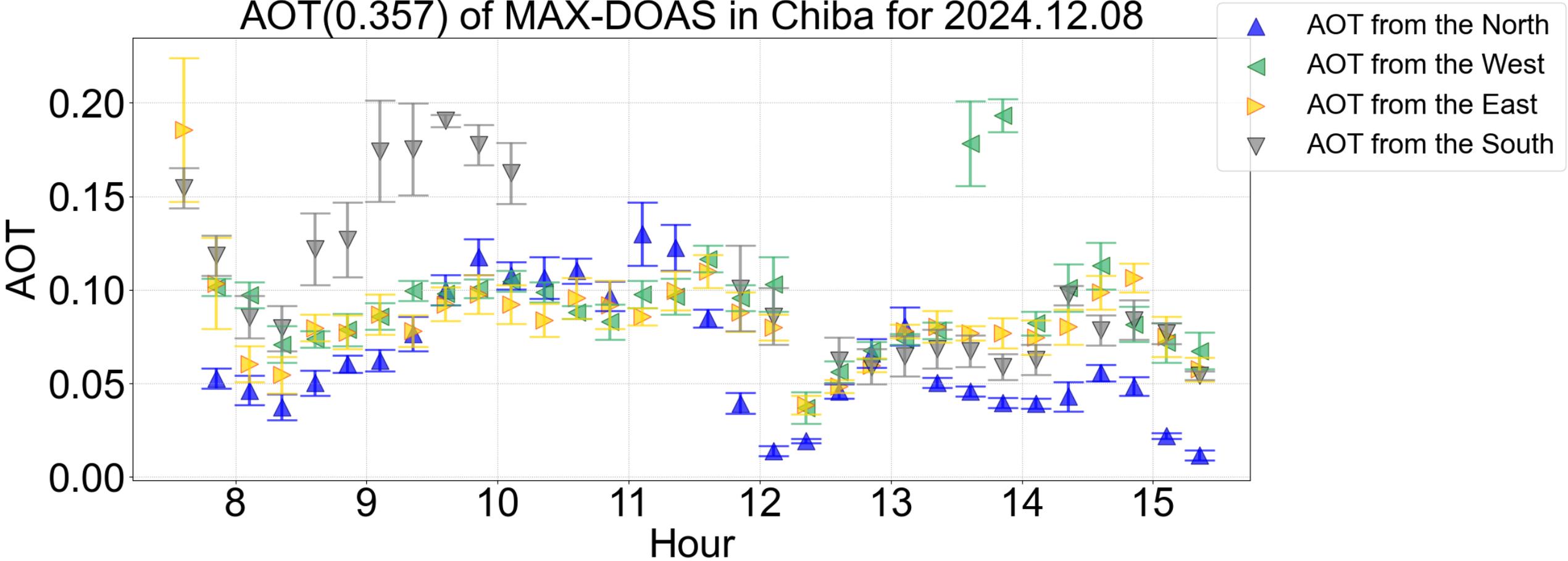
【12/7】

AngstromExponent in Chiba for 2024.12.07



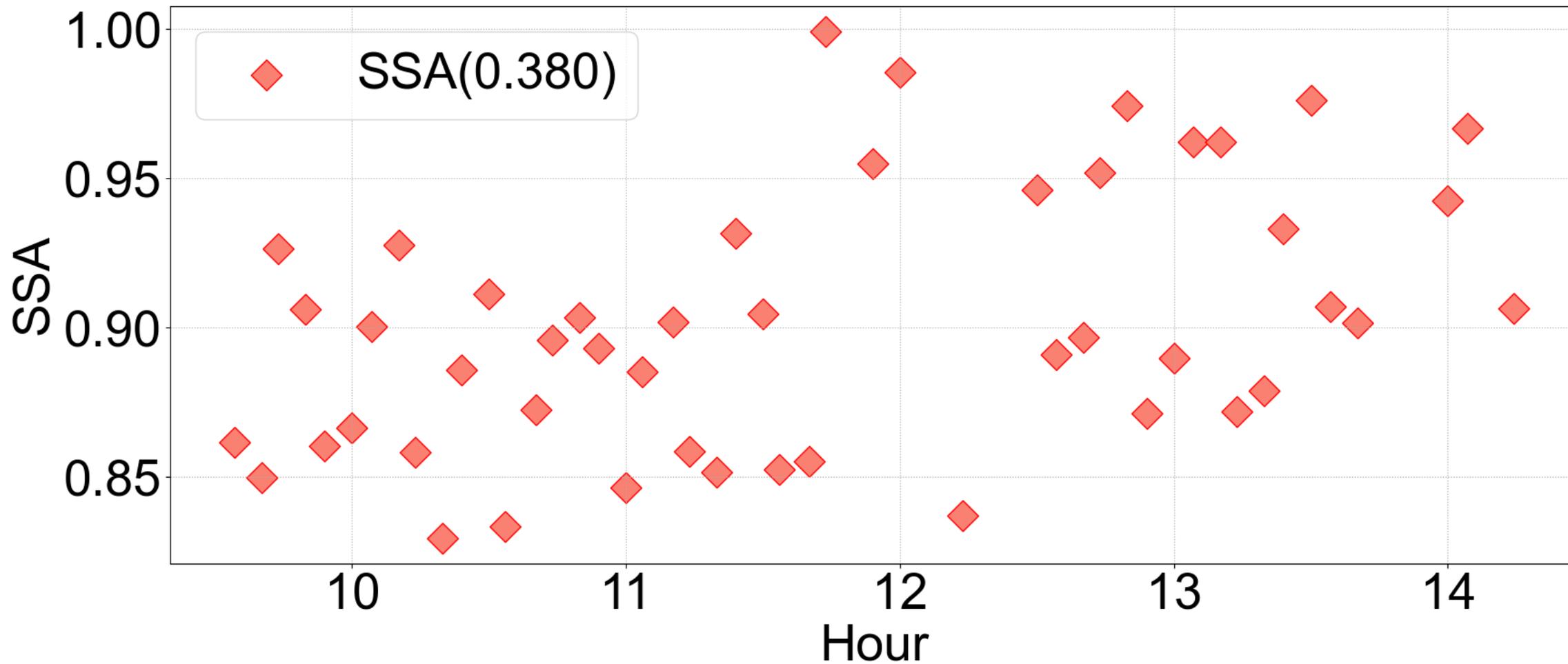
【12/8】

AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2024.12.08



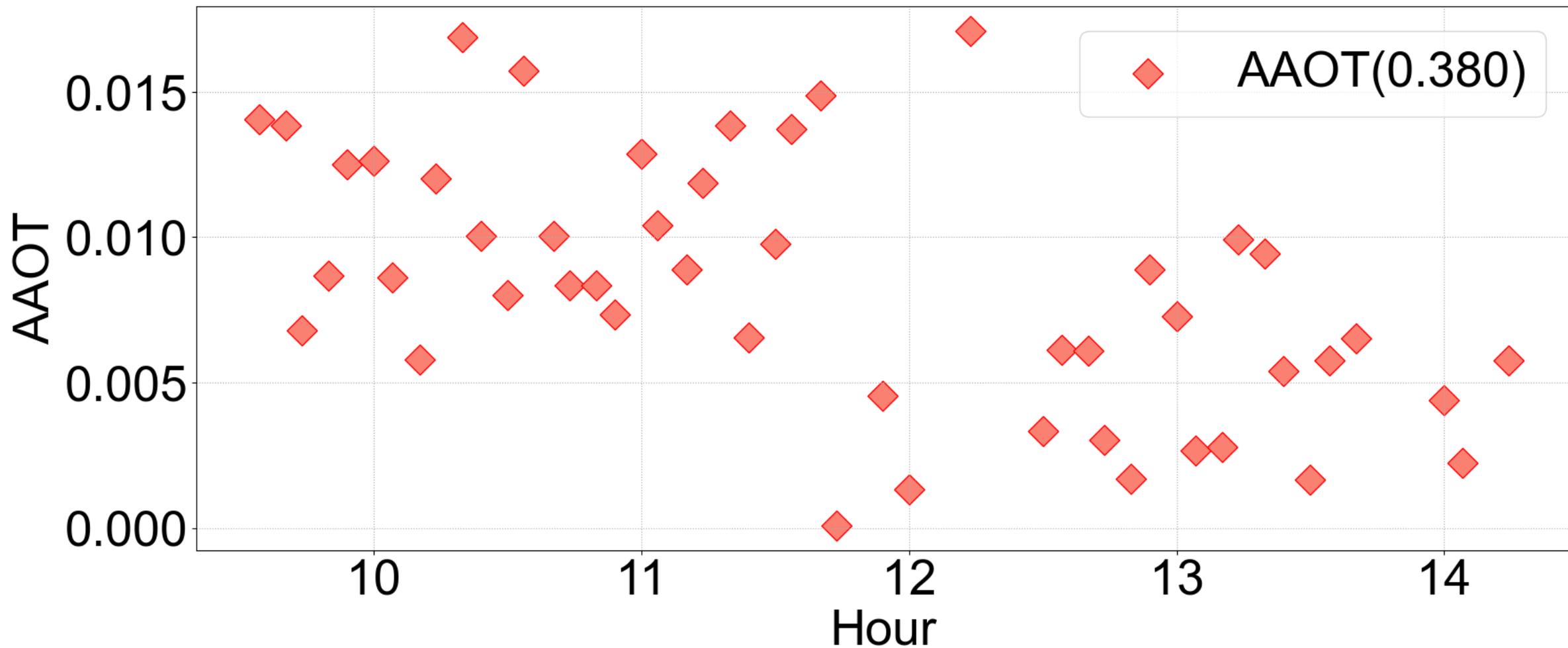
【12/8】

SSA in Chiba for 2024.12.08



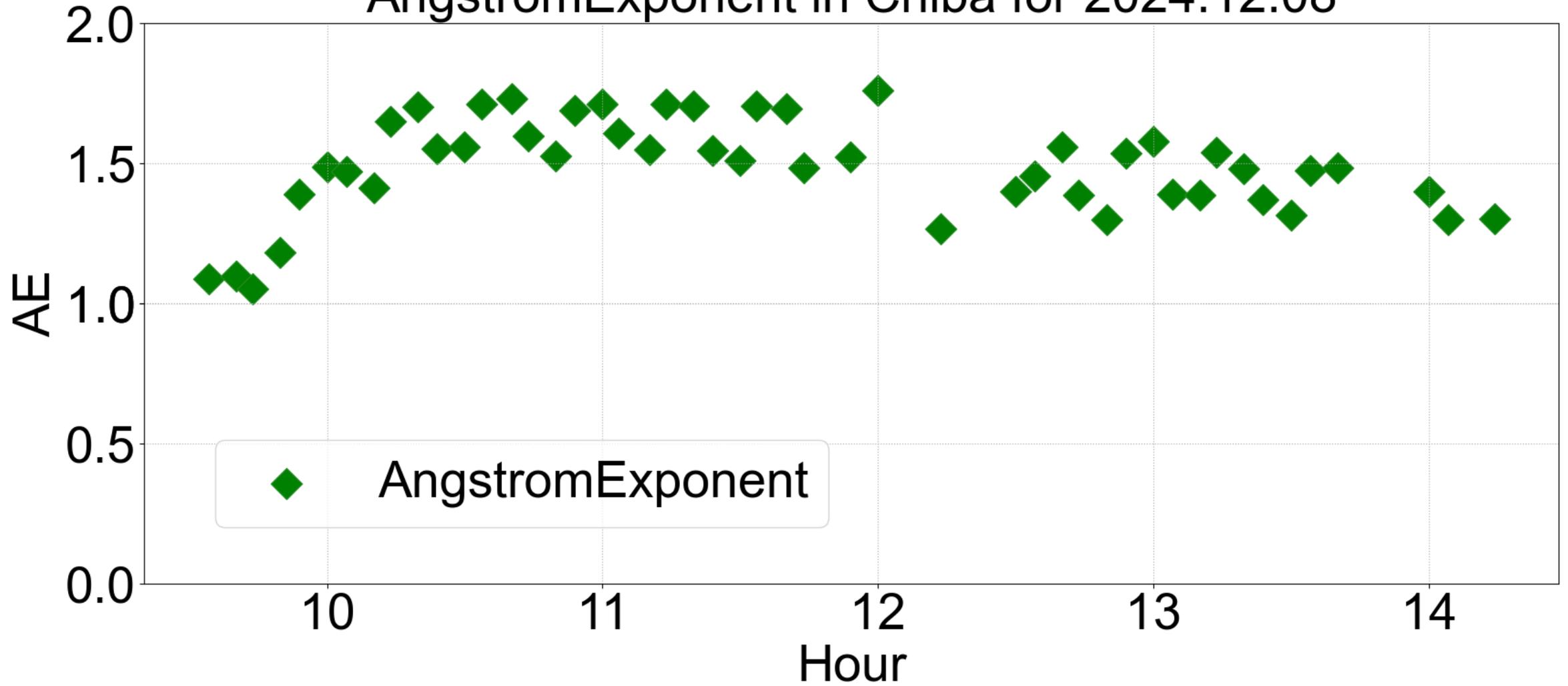
【12/8】

AAOT in Chiba for 2024.12.08



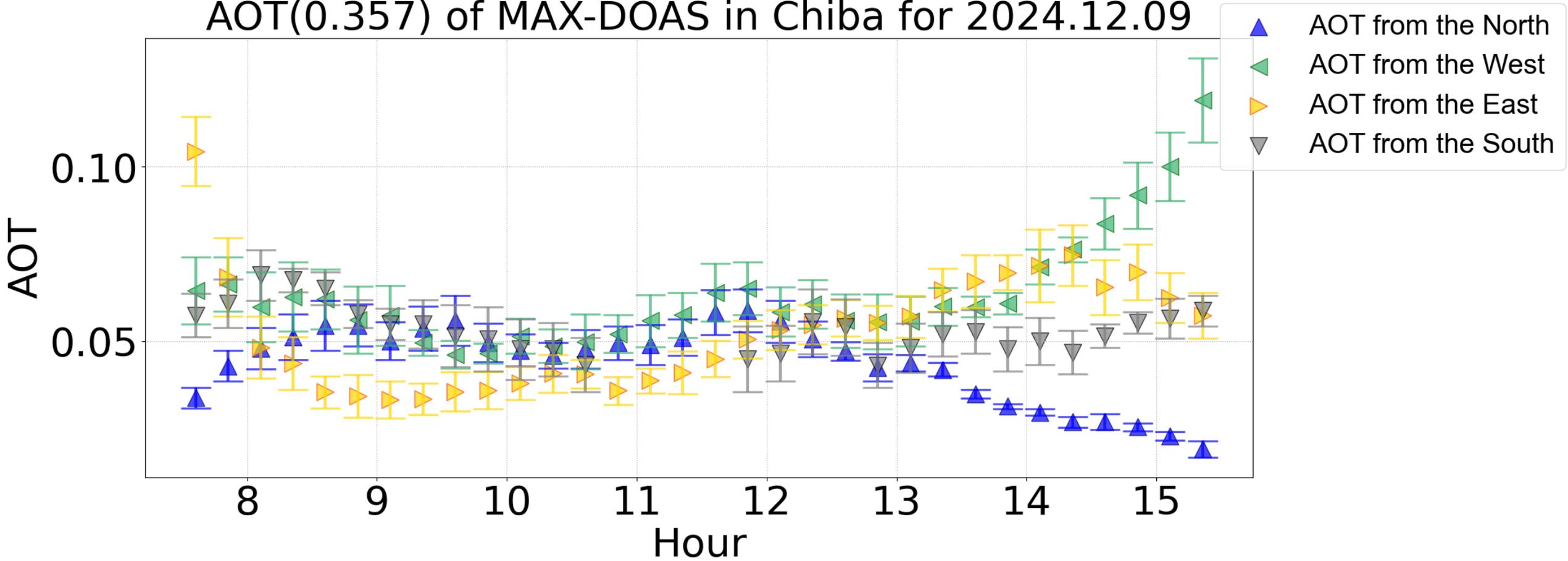
【12/8】

AngstromExponent in Chiba for 2024.12.08



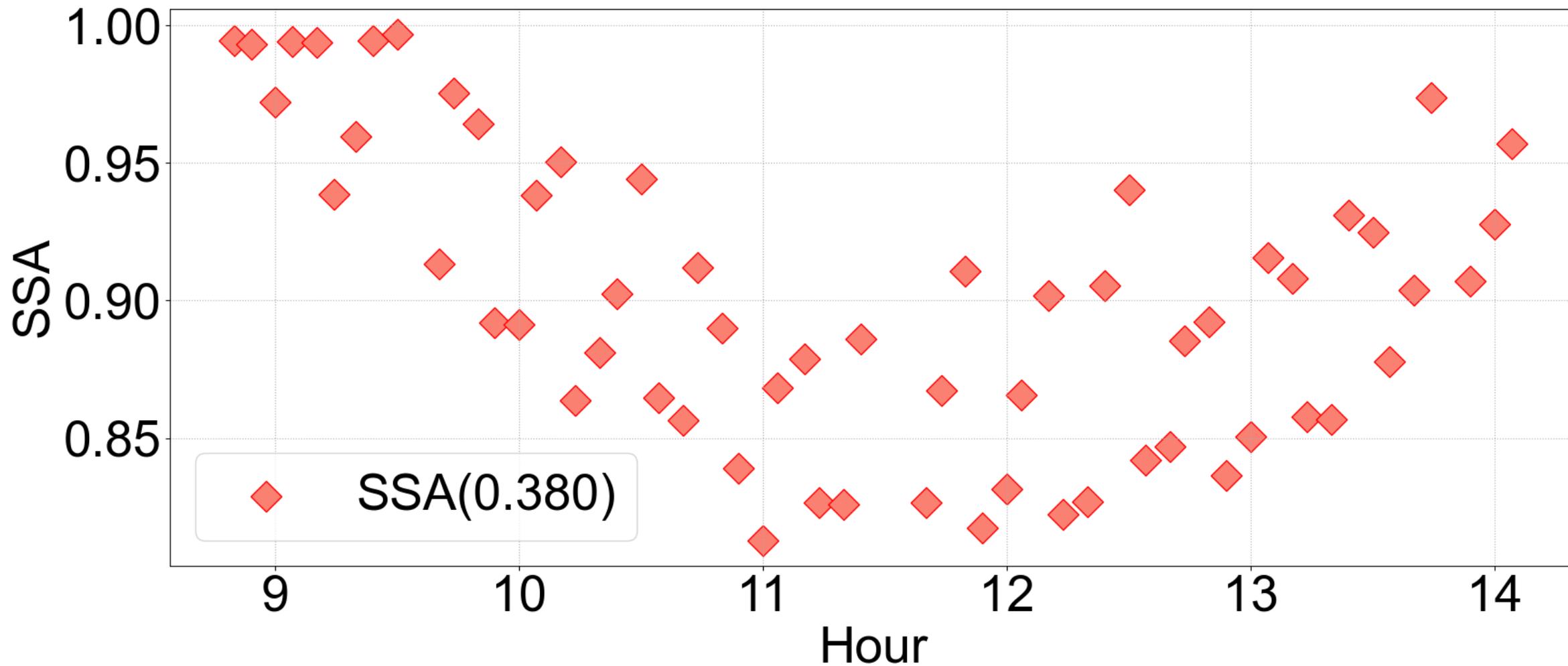
[12/9]

AOT(0.357) of MAX-DOAS in Chiba for 2024.12.09



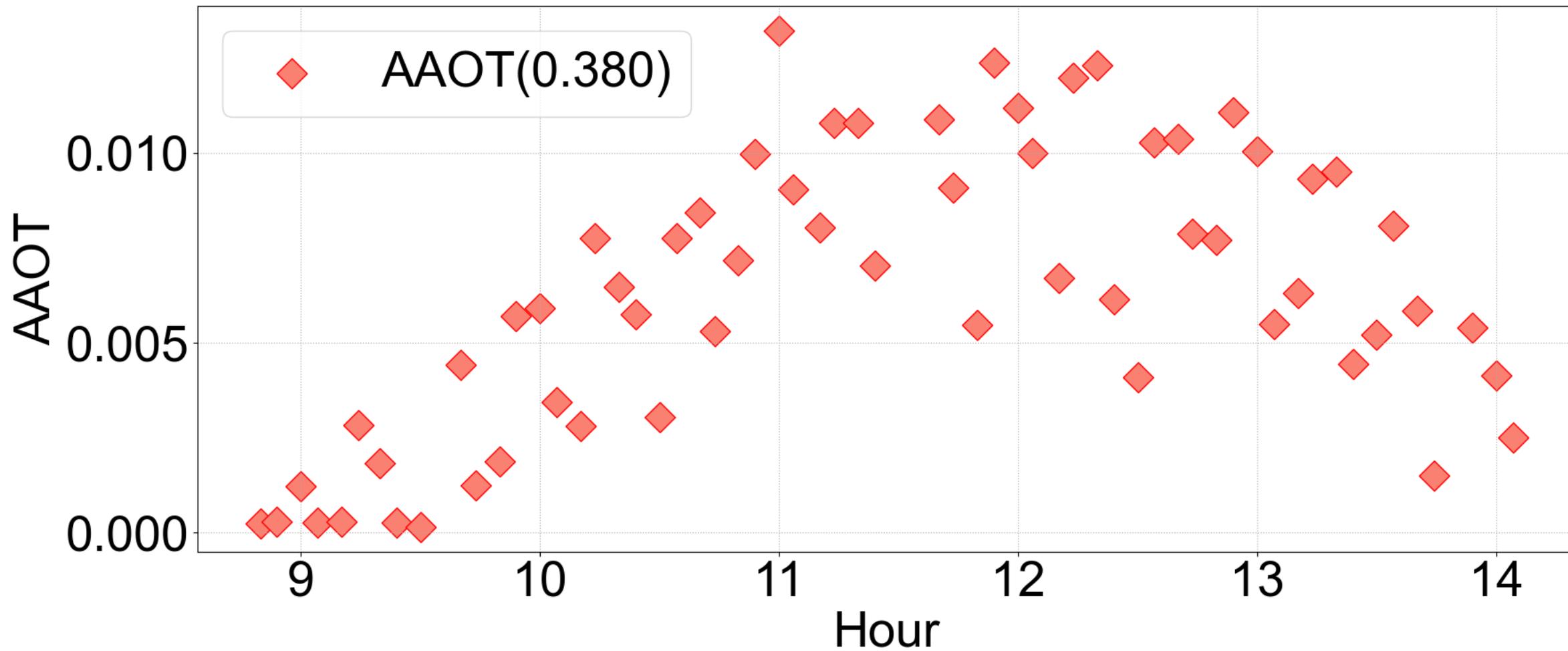
【12/9】

SSA in Chiba for 2024.12.09



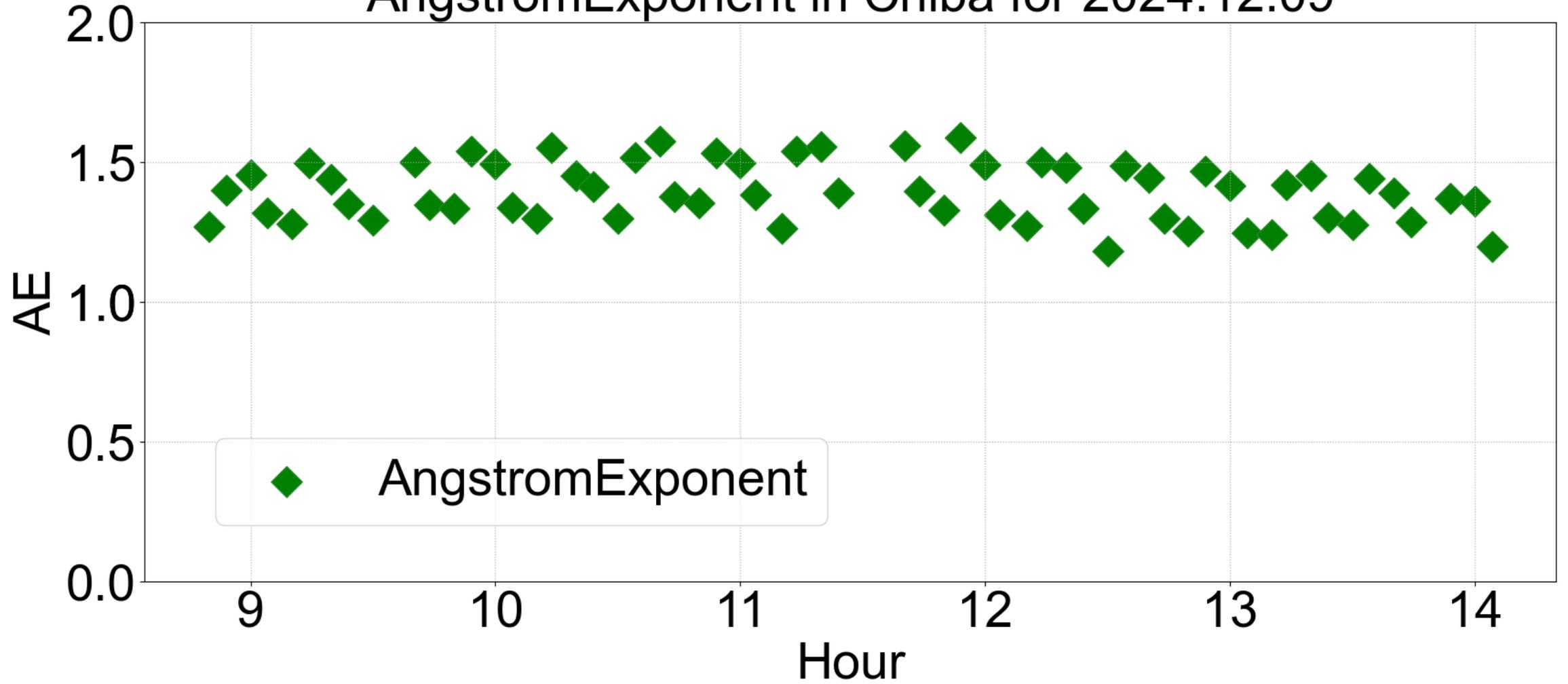
【12/9】

AAOT in Chiba for 2024.12.09



【12/9】

AngstromExponent in Chiba for 2024.12.09



【結果・考察】

12/7

- ・午前中はエアロゾル量が著しく小さかったが、15時ごろにかけて北・東方向で高い値が見られた。また、同時間帯でAAOTも高い値を示していた。
→北・東方向から光吸収性エアロゾルが多く飛来した可能性が高い
(しかし、AOT値の誤差が大きかったことから雲の影響も大きかったと推測される)

12/8

- ・AOTは比較的低い値で推移。また、午前中を通してオングストローム指数が高かった。
→エアロゾル量は小さかったものの、全エアロゾル量に占める人為起源エアロゾルの割合は高かったと考えられる

12/9

- ・12/8よりもさらにエアロゾル量は低い値で推移。また、9時台でAAOTが極端に低い値を示していたことから、特に光吸収性のエアロゾル量は小さかったと考えられる。